

あたしの愛しい 許婚

R18

Ranma 1/2 Unofficial Fanbook

RANMA 1/2 AKAANE



辰子の部屋
KINOKOTAI



Ranma 1/2 Unofficial Fanbook

あたしの愛しい 許婚

RIE

contents

可愛い許婚

そな...5

恋人と違っていいですか？

杜崎淑乃...21

召しませきのこ

一宮レイ(小説)*やみ(漫画)...31

お酒の力でなんとか
乱馬を攻めたいあかねの話。

八神らいむ...53





かわいい許婚 そな







はー

も...やめ...う

はー

はー

おお

ぎんぎん



ぜん

も...もう

ぜん

はー



あつ! 脳もよわーい。

やめろおおお

ぎやはははははー!
やめつ...や...
うはっうはははははっ!

ちよーちよ

ちよーちよ



やだ...

あ...

ニギ...



うあつ!

びん

いじめたく
なつちやく
じやない。



あかね?

そんな表情
されたら

びん













おれと
したいん
だよな？

嫌とは
言わせねー



うん。



あんたが
欲しいわ

ーっん？



あかねっ

ん：

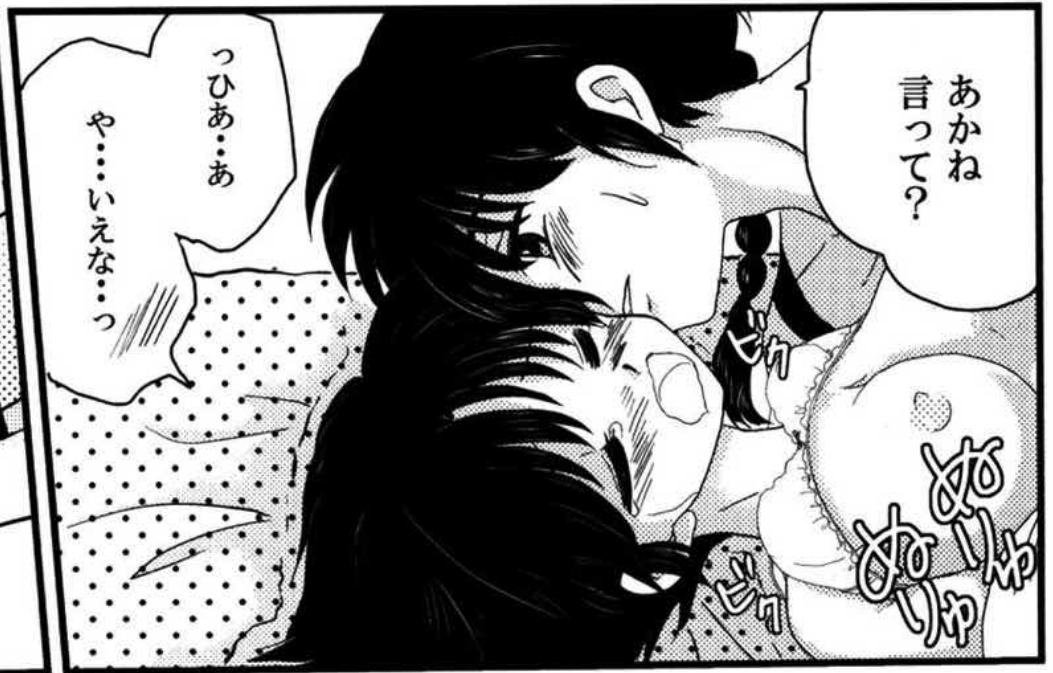
んっ

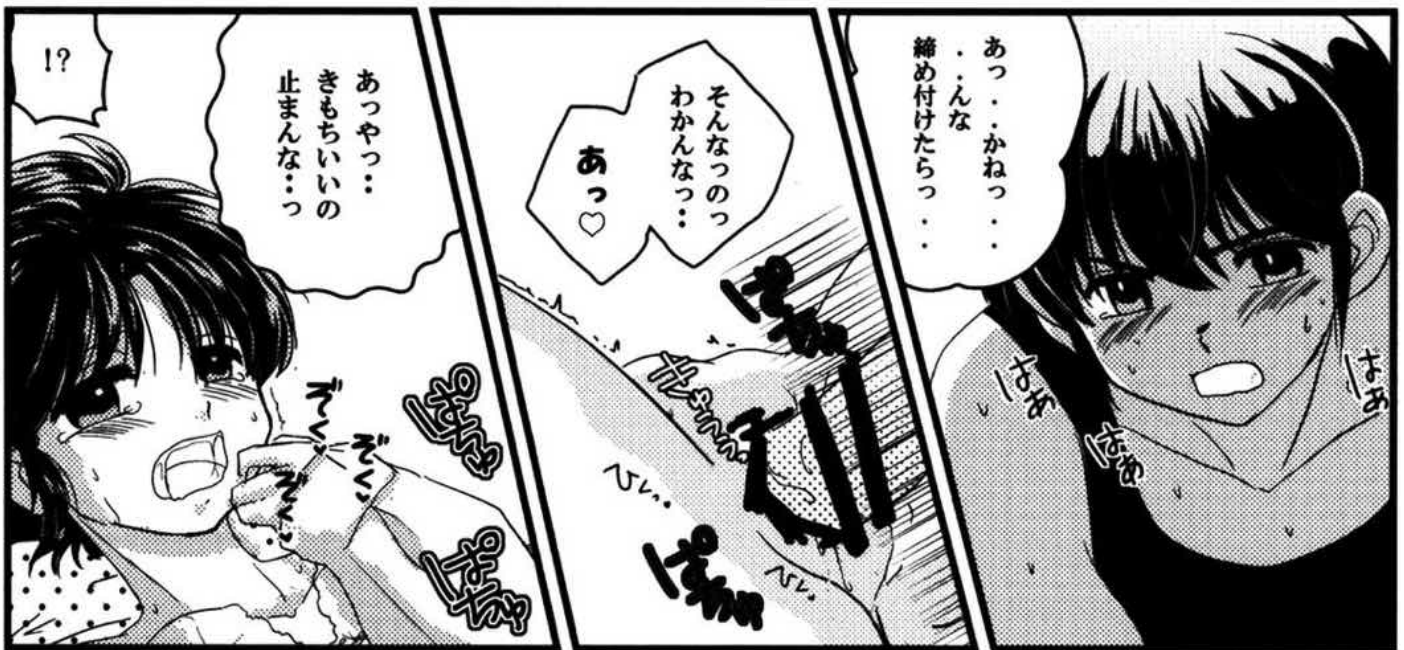
っ

っ













えー。
そりやそーだろ。
おれの事
好きなんだもんな！

なによ。
ずいぶん
ごきげんじゃない。

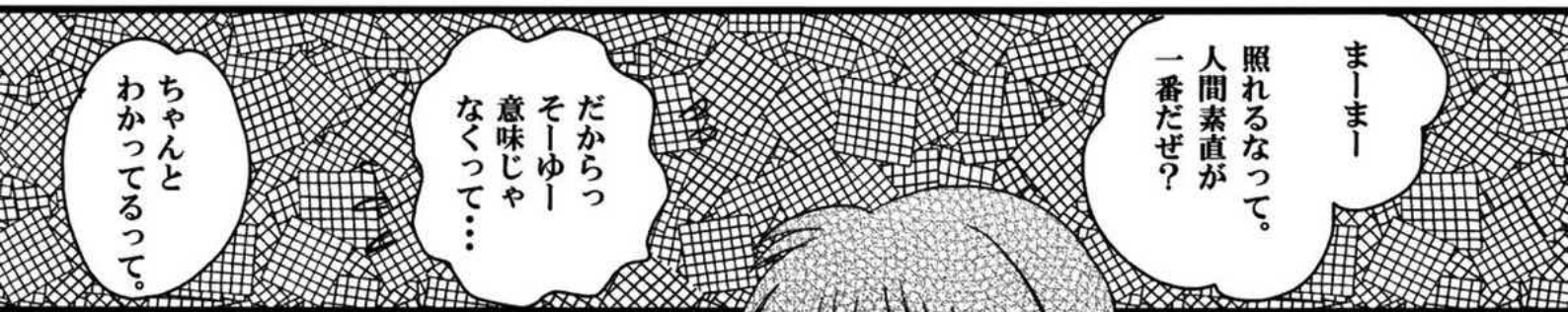
にんよ
ずいぶん



それに、
おれと一緒にして事は
いつでもどこでも
おれとしたいって
事だよなあ？

わあ

ちっ
違おうわよっ！



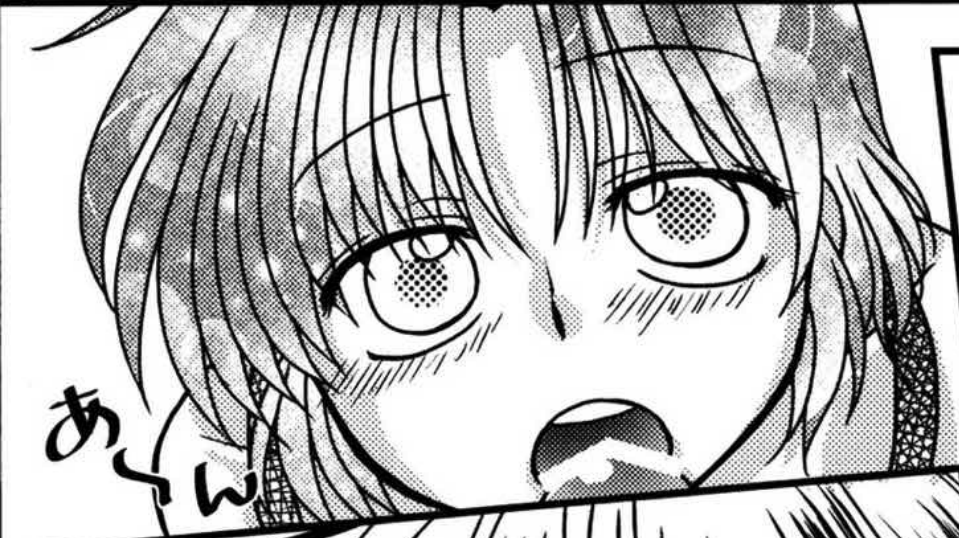
まーまー
照れるなって。
人間素直が
一番だぜ？

だからっ
そーゆー
意味じゃ
なくて…

ちゃんと
わかってるって。



…本当は、
泣いた顔が
かわいかったから
もう少し見たくなっただけなんだけど…
言ったら怒るかしら。





おれのちん〇が
汚い訳
ねーだろ!!

えー
だって…

恥ずかしくて
さつきちゃん
と
洗えなかつたんだもの

日頃から
キレイに
してるっつうの!

そう
この二人

中身が
入れ替わってます

びん



あるわよ!

元に戻る
為だもん!

中身あかねな
乱馬

そのお尻に
ホントはさ
あんたは
足閉じなさいよ!



中身乱馬な
あかね

あかね
おめー
やる気あんのかよ?

ほあ



きんニ〜ん

あたし
先に
帰るわね

ちよつ
シャンブー
くつ付くな!

おい!
あかね
待ってば

何よ
乱馬ったら
デレデレしちやうで

ふん

乱馬!
わたしとこれから
デートするね!

は?!

天道さん



未央さん…

見てたわよ

本気で拒絶しない
煮え切らない彼に
不安を抱えてる
ようね

そんな彼の
本気の気持ち
知りたいんでしょ?



だったら
これを
飲んでみて

彼の事を
想いながら飲めば

彼の気持ち
手に取るように
分かるようになる
薬よ

未央さんに
そう言われて
渡されたけど…

乱馬の
本当の気持ち

ズン
ズン

あいや
♡

シャンブーに
抱き付かれて
「たまんねーな」とか
思ってたりするの
が分かったりしたら…



いいわよ
その時は
あたしの方から
別れてあげるわよ

Love



あれ？

え
?!



エッチしたら
戻るわよ
言っでなかった
かしら？

聞いてません

とにかく

セックスしたら
元に戻
るんだろ？

未央さんの
話しては…

やだ…

あんなに
先が…

かあ…

ふんふん

なら
話は簡単だな



おれの
舐めただけで

あかねの
乳首
ピンピン

ごっごもほら

びい

びい



すげーだろ

おれが
欲しくて
ぐちよぐちよ



浅いところを
優しく撫でるように...



あつ
そこやばい
気持ちいい...

え?
何これ?!



なあ

いつもおれに弄られて
気持ちいいトコ

自分で
触って
確かめてみるよ

うっうん...



はあ

あたし
乱馬の声を
聞きながら
弄ってるだけなのに

あ、
はあ
あたし
乱馬
あたしのあそこが
凄く
熱くなってる

もうだめ
出ちゃうっ!

んー



まだ
ダメ

おれは
イク時は
あかねの中でって
決めてんの

うわっ!



つ乱馬
あたし...

こんな気持ちいいの
長く持たないっ



んっ

おれって
結構
でかいんだな



もう
イキそう...

いいぜ
好きな時に
出していいからな



あかね

わん★



それに反応して
乱馬もより
大きくなってる



今凄く
締まったのが分かる

あたしの
名前を呼んだ
だけで



ちよっ
おめー何だよ
急に

はあ
あ



あかね

好きだ



あいやー
乱馬っ

乱ちゃん!

乱馬様

自分が好きだって言っただけだもん

自分の名前を呼んで

おい
あれは卑怯だろ...

すす
好き

戻りました

乱馬

…あかね

名前を呼ぶだけで

一瞬触れるだけで

痛い程心と身体が
反応するのは

あたしだけって
分かったから

ねえ

今度はあたしが
あたしのまま

乱馬を
攻めでいい？

へっ?!

……

次の日

ちよつ待て
あかね!

あ〜あかねさんっ
あ〜〜〜♡

未央さん
ちゃんと
元に戻して

あら
楽しそうなのに
残念

楽しくねえ

乱馬お姉ちゃん

小説／一宮レイ

漫画／やみ

少し不機嫌そうな顔で、乱馬はまた稽古用に突き立てた縄を巻いた木に戻って撃ち込み再開。秋の風が心地よく吹き、乱馬のおさげを揺らして。あたしは伝票にある天道という苗字をじっと見詰めた。

もうすぐ、天道じゃなくなる。

小包を開けると、ふんわりと土の匂いが広がった。地方紙に包まれたものの上に、白い封筒が一つ。あたしはそれを開け、乱馬に聞こえるように読み始めた。

「拝啓 あかねさん

お元気で過ごしてでしょうか。

紅葉が綺麗な季節になりましたね。

俺は今、日本海で激しい修行に明け暮れる毎日を送っています。

君と乱馬の事は風の噂で聞いた。

君が幸せなら、俺は何も言わない。

ささやかだけど、日本海で採れたモノを送ります。

.....

.....

.....

「ですって」

乱馬に手紙を読み聞かせるあたしの傍にかすみお姉ちゃんとなびきお姉ちゃんもやって来た。

なびきお姉ちゃんは、手紙と小包の中を覗き込み、はははと笑った。



「見事にきのこだらけね・・・」

「あいつ、また迷子になってやがんな。日本海できのこって」

「まあ、今日はきのこパーティーねえ」

「豚はきのこ探しが得意だかんなっ」

「それ、どういう意味？」

「別に」

へっ。と鼻を鳴らすと、乱馬は手元の木に一撃を加え、その木をへし折った。

高校を卒業してから早2年、今年であたしも二十歳。卒業しても全く落ち付かない状況だったけど、少し変わった事がある。

それは、乱馬が元に戻った事。

と、それから

「あかねー、そのタオル取って」

「はいっ」

あたしの投げたタオルをしっかりと掴んで、「サンキュ」と笑う許嫁が、許嫁じゃなくなる事。

そう、もうすぐ旦那様になる。

未だ信じられない事実。

あと何カ月かで、あたしは天道じゃなくなるのだ。

かすみお姉ちゃんは小包一杯のきのこを手にはほんと台所に入って行った。

「お姉ちゃん、あたしもっ」

楽しい夕飯時、の筈だったのに。

ドクンとなってヒュ。

一体何が起こったの？

あたしの手からお箸ときのこが落ち、カランとお皿の上に乗った。目の前のお姉ちゃん達とおば様がびっくりした顔で、あたし達の方を見ている。あたしは自分に何が起こったのか分からなかったけど、隣の乱馬とおじ様を見て理解した。

「おじ様!？」

「親父っ!？」

「ぼ？」

さっきまで大きかったジャイアントパンダが、それはそれは可愛い小パンダになっていて。その場にコロんと転がっている。

「ど、どういう事!？」

「待って、あかねも乱馬くんも変わってるわ!」

あたしはなびきお姉ちゃんの言葉に慌てて顔に手を当てた。何処も変わっていない・・・視線も同じ。

でも、何か、身体が・・・

乱馬に聞こうと振り返ったら、真っ赤な顔してあたしを見てる乱馬も違ってた。

「あんた、ちよつと幼くなってるわ!？」

「何い!？」

「本当だわ、少しだけだけど、顔付きが」

「なんて中途半端な」

「中途半端言うなっ」

「ぼぼ」

かすみお姉ちゃんは手元のきのこをお箸で摘まみ上げ、「まあ大変」と呟いた。

「このきのこ、年の数茸だったのねえ。せつかくのあかねへのお土産だからと思ってあかねに大きなの置いたんだけど」

「あかね、成長したわねー。まさに大人の女じゃない」

「そ、そうなの!？」

「かじった一口の長さを考えても・・・かすみお姉ちゃんよりは上ね」

「そ、そんなあ」

「しかし、二人はまあともかく。早乙女くん可愛くなっちゃって・・・」

お父さんは畳の上でコロコロ転がる小パンダを見て、複雑そうな顔をした。流石小パンダ、中身がおじ様と分かっている愛らしくて。皆の関心を惹き付けている。ちよつと若返った乱馬といくつか大人になったあたしの事など、もうどうでもいいようだった。おば様は処分しそうになってた小包を出し「胞子付いてるんじゃないかしら?」と笑った。

「くっそー良牙の野郎っ!! ぜってー嫌がらせだっ!!」

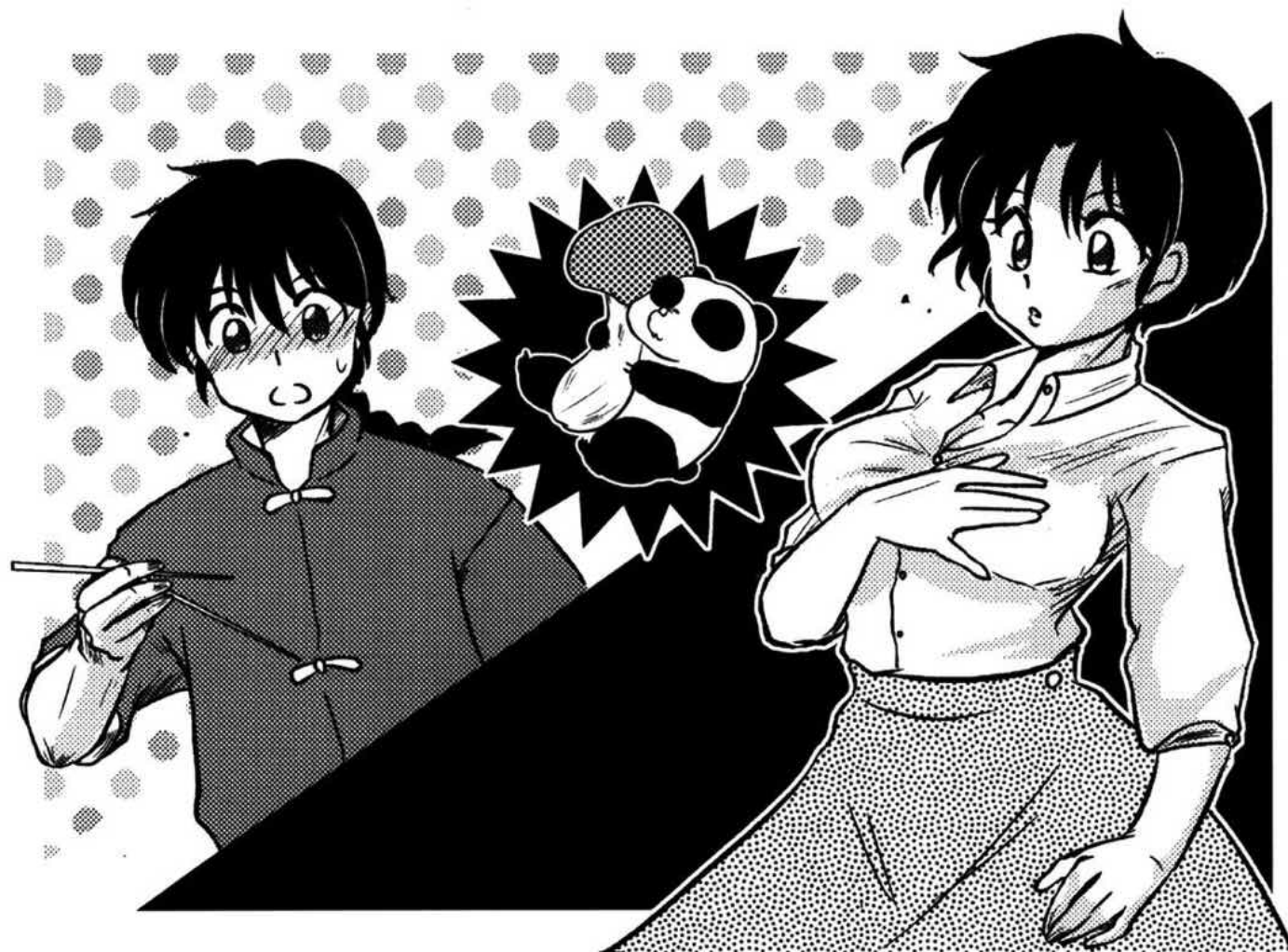
夕飯を半分しか食べられなかった事もあってか、乱馬の機嫌がすこぶる悪い。

乱馬はあたしの部屋のドアを乱暴に開け、ドツカリとベッドの上で寝転んだ。まるでこの部屋の主であるかのような顔で。

「まあ、すぐに元に戻るわよ」

「けっ」

ベッドに寝転がる乱馬は、あの初めて会った頃よりも幼く見える。身長も縮み、しっかりした体格だったのが、少し華奢になっ



ていた。まさに少年という感じ。

「乱馬すっかり子供になっちゃって。ふふう」

「う、うっせーなっ、年増っ！」

「誰が年増だっ!!」

「ぎゃんっ！」

相変わらず殴ってしまう癖は直らない。いつか愛想尽かされな
いかと心配になるけど、つい手が出てしまう。

いや、乱馬が悪いんだ。つまらない事ばかり言うから。

「何よっ、ガキー」とべと舌を出して、あたしは姿鏡を覗き込
んだ。

びっくりした。

身体も顔も、しっかり大人だったから。

「えーっ、これ、あたしっ!?」

あたしの身体は身長こそ違わねど、色々な所が成長して
いて、全体的にちよつとふっくらしてて……

胸、成長してる……

「ね、ねえ」と乱馬を振り返ると、目のあった乱馬が慌てて目を
逸らした。その頬は真っ赤に染まってる。

「ちよつと、何で逸らすのよっ」

「べ、別にっ」

「失礼ねー」

着ていた薄手のシャツがちよつと窮屈な胸元を押さえながら、
あたしは乱馬の横に座った。

「戻るかなあ」

「も、戻るだろっ」

「戻らなかつたら、あたし姉さん女房だね」

と、冗談で笑うと、「あはは」と笑って返してはくれるものの、

乱馬の顔は益々真っ赤。

「乱馬？」

「な、何だっ」

「真っ赤よ、あんた」

「そ、そか？ 気の所為だろっ」

ぷいと顔を背けるけど、耳まで真っ赤になってた。

ちらとこちらを見た乱馬の視線が胸元を彷徨ってるように見え
て、あたしは慌てて胸を隠した。

「何よっ、どーせ本当のあたしは小さいですよっ」

「んな事言っでねえだろっ」

「言っでなくても思っでんでしょーっ」

「あのなあっ」

「何よっ、胸大きい方が嬉しいくせにっ」

と、あたしは胸を強調するように乱馬にずいと寄ってみた。ほ
んの、悪戯気分だったんだけど……

「あ、あかね……っ、あのっ」

あたしの大きくなった胸が真正面に来てびっくりしたのか、し
どろもどろの乱馬。

そして、ふらーと手が伸びて来たから、その手を掴んでパフッ
と布団に押しつけた。

「ちよつと、なに手、出してんのよっ」

「おっおめえが目の前に出してくっからだろっ」

真っ赤な顔の乱馬、きのこの所為で幼くなってるからか凄く
初々しく見えて……

胸が、キューとなる。

可愛いとか言ったら怒るだろうけど、可愛い。いつもの俺様な感じとは違う新鮮な反応に、あたし、益々悪戯心が湧いてしまった。きのこの所為で心まで大人になったんだらうか。

あたしは更にずいと乱馬に寄る。乱馬の背中がベッドサイドに付く。腕をぐつと寄せて、胸を出す。

「ほらほら、いつもと違う大きな胸ですよーっ」

「ち、ちよつと・・・」

「触りたいでしょ？ 触らせないもんねーっ」

「おっ、鬼っ！」

「え？」

「あっ」

乱馬はしまったって感じで手で口を覆った。

え？

「何、あんた触りたいの？」

「べべべ、別におめえのちよつとでかくなった胸なんて別に俺は触りたくなんか別にないって俺は」

「あっそーですかっ」

何よつ、大人になつたって胸大きくなつたって、あたしには色

気が無いとでも言いたいのっ!?

あたしだってあたしだって、女なんだからねっ！

「じゃあ絶対触らないでねっ」

そう叫んで、あたし、薄手のシャツの前をぐつと開いた。どっかであかね何やってんのって声が聞こえた気がしたんだけど、どうしたんだらう、本当に。

開いて開放された胸がぼよんと前に溢れ出た。付けていたブラから溢れそうな胸は、乱馬の鼻先で揺れる。

「へえ・・・こんなに大きくなってたんだ・・・」

自分でも驚いた。

乱馬はまた手で口を、とつか顔半分を覆った。

「どうだっ、これでもかっ」

乱馬がぶるぶると首を振る。益々真っ赤に染まっていく。その困った少年顔があたしの悪戯心を煽る。

更に寄って、乱馬の上に跨った。少し薄くなった乱馬の胸に手を付いて、身体を寄せた。あたしの胸が乱馬の胸の上に乗る。と、押さえていた乱馬の手が動いて、あたしの腰を掴んだ。けど、すぐその手を掴んで剥がした。

「何触つてんのよ、触らせないって言ったでしょ」

「おっ、おめえがひっ付いてくっから」

「あんたは触っちゃ駄目っ」

触らせてくれっていうまで、触らせてあげない。

乱馬の両手を掴んで、ベッドに押さえつけた・・・あたし、気が付いてしまった。あたしのお尻の下で乱馬のが、固くなつてるのを。

「へえ・・・そう」

「な、何だよ・・・」

「乱馬、あたしに興奮してんだ」

「え」

「こんな風にされて、興奮してるんでしょ？」

「べ、別に」

「別に？ 違うの？」

「じゃあ、これは？」と、あたしはお尻を動かして、乱馬のモノを刺激した。乱馬は「あ」と声を上げ、しまったって顔をした。

その表情をもう一度見たくて、もう一度刺激を加える。

あたしの手の下の乱馬の手に力が入ったのが分かった。けど、離れようとしなさい。

少年に変化してるとはいえ、あたしの力に負ける筈なのに。

「どうする? ねえ」

「どう、するって・・・」

「どうするの?」

胸がドキドキする。大胆になっていく自分が信じられない。でも、止められない。

ゆっくり乱馬に顔を寄せ、その唇にキスをした。

乱馬の唇、震えてた。

大人のあたしと少年の乱馬、ちぐはぐさがイケナイ空気を作って行く。

「触っちゃ、駄目だからね」と、乱馬の耳元で囁いて、乱馬の手を解放した。

スベスベの少年乱馬の頬に触れる。それをスーと降ろして、チャイナのボタンを外して行く。乱馬は眉間に皺を寄せ、何かを我慢しているように見える。

その表情が、堪らない。

もっと、そんな顔、して欲しい。

少年になっているとはいえ、筋肉の付いた胸。中学生だとしたら、出来過ぎた身体だと思う。でも、本当の乱馬よりは細い。

チャイナを開き、胸に手を這わすと、「くすぐってえ」と乱馬が言った。

「くすぐってるのよ」

ツーと指先を降ろし、乱馬のお臍でピタと止めた。形のいい、お臍。乱馬が息を飲む音が聞こえた。

「乱馬、細いね」

「う、うっせーな」

「どうしようか、本当に戻らなかったら」

「んな事、ねえよ」

「あんたと10以上も違うのよ?」

「あかねはあかねだ」

「年増だって、言ったくせに」

「そ、それは・・・」

着ていたシャツをはらりと落とし、ブラだけになる。

そのブラも、肩紐からゆっくりずらした。

年増と

SEX、
してみる？

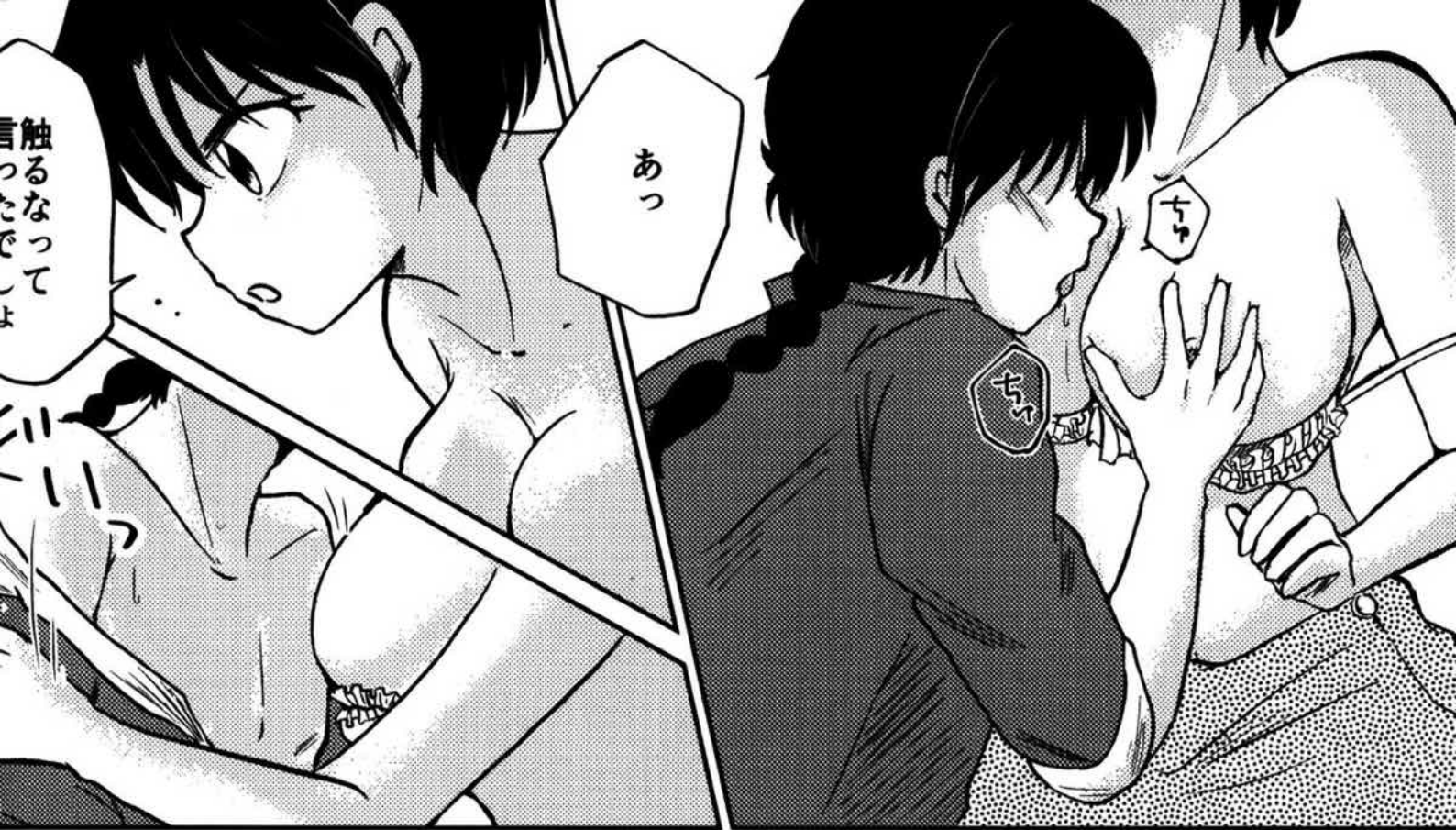
！

3、3、3

すげえ
重い……

ちょっと







感じ…ない
ことはないけど

うわー
柔らけー

なんだか複雑っていうか…
乱馬が夢中になってるのは
きのこの所為で年を取って、
ふくよかになって大きくなった胸で。



と言う事は、
あんたやっぱりっつ

だから今は本当の
あたしの身体じゃなくて、
この胸の大きさも本物じゃない。
でもその本物じゃない胸で
乱馬は幸せそうにしている…



やめーっ！

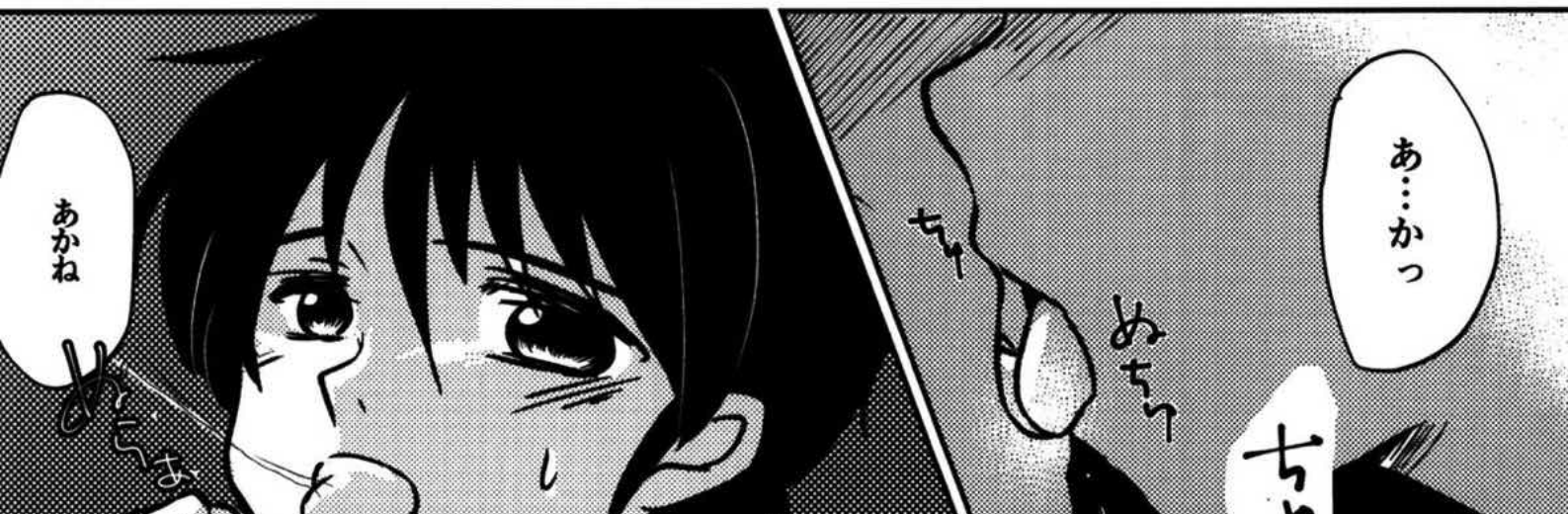
もうっ！

大きい胸が
好きってこと？

どーせ…

どーせ…

ぐへっ





んっ……っ

っあ…

……ッ



……っ

乱馬の声に
ゾクゾクする…

益々、
苛めたい……

う…



ねえ乱馬

いい子にしてたら

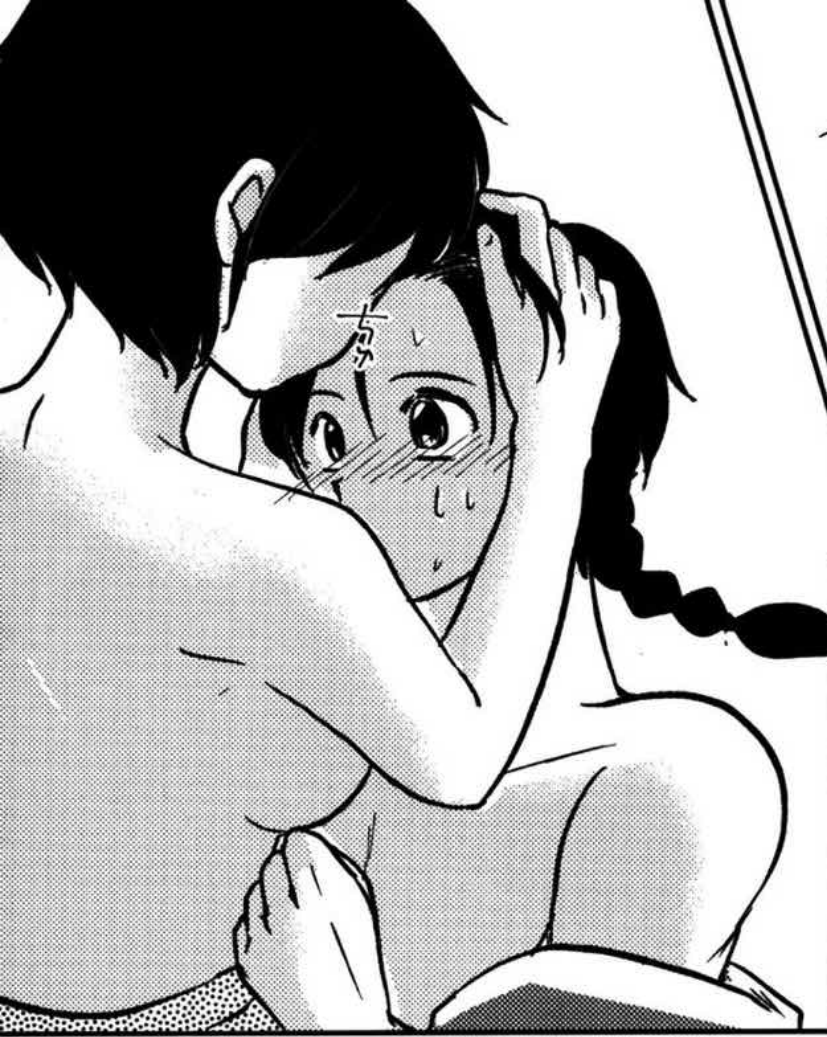


もっと凄いな
してあげる

して欲しい?

え...

う...うん



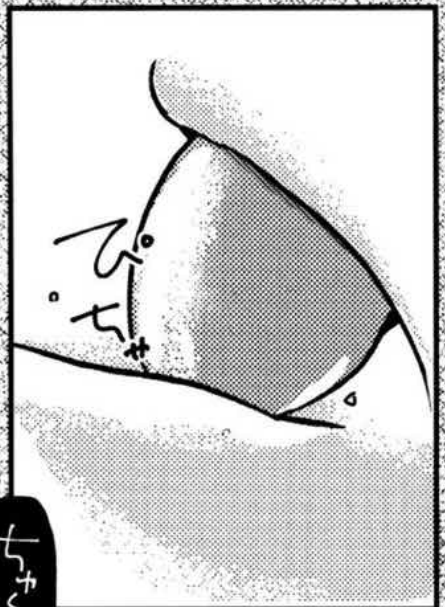
いつもは…
あれよあれよという間に
脱がされ舐められ攻められて



ぐったりしちゃって
腕の中で眠っちゃう…
そんなSEXだけど



今日は違う。
あたしが主導権を
握ってる



やるも

くっ…

Booo
Booo

はあ

やらぬも

あたし次第







でも不思議と
嫌じゃないのは、

っああ!

苦いというか、
何というか...
複雑な味。

好きな人の
だから
だと思っう。



だあつて!

じっとしてて!



もう我慢
出来ないんでしょ?

分かってるわ
でも、駄目。

じっとしてないと、
やめちゃうわよ?

今はあたしが
主導権握ってんだか、



男のくせにっ、
子供のくせにっ！

なんて、
いやらしい…
色気のある
顔してんのよっ。

うは……っ

あくっすま

あっ



そっ…

もっと、そんな顔、



見たくなる
じゃないっ！

り
ち
や

ざ
あ
る



あたし：
有り得ないくらい
大胆になってる。

何で...!?

えっ...

びんたっ

ちゅぽん



一人でいくなんて...

そ...れは

駄目。先にイキそうになっただでしょ?

ギョウウウウ

ずるいんだから

いつもの自分じゃ出来ない
言えないような事、
言ってるって分かってる。
でも、興奮しちゃって
……止められない。

あのきのこ…
他にも作用が
あるんじゃないの？

ん…

あ…あかね…

入れただけで、
こんなに
気持ちがいいなんて…。
こんなの、動いたら
あたし…
直ぐにダメになる!!

はまみ

びび

くっく

しゅん…

びしょ

ちゅ

ちゅ

ちゅ





乱馬っ

ぐん

あっ、あああっ、
すご……っいつ!!

あかね……っ

でも、滅茶苦茶に
動きたい!!

おん

すげえ
締まる……っ!!

俺もう……

おん

駄目よっ!!
我慢して!!

一緒に
イクんだからっ!!

おんな
おんな

ひびひびひび……

ん



あ..あんだだって

くっそー
やりやがって...



その夜

乱馬くうーん、
あかねー。
きのこ
成長したわよー



あ？

まんざらじゃ
なかったくせに...



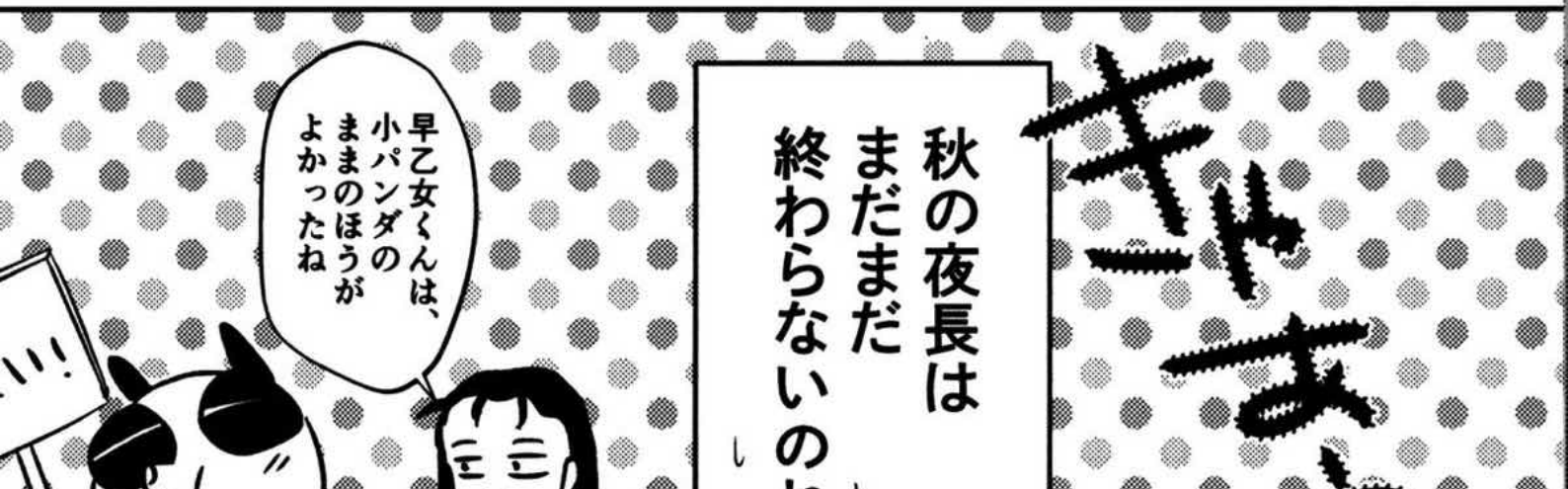
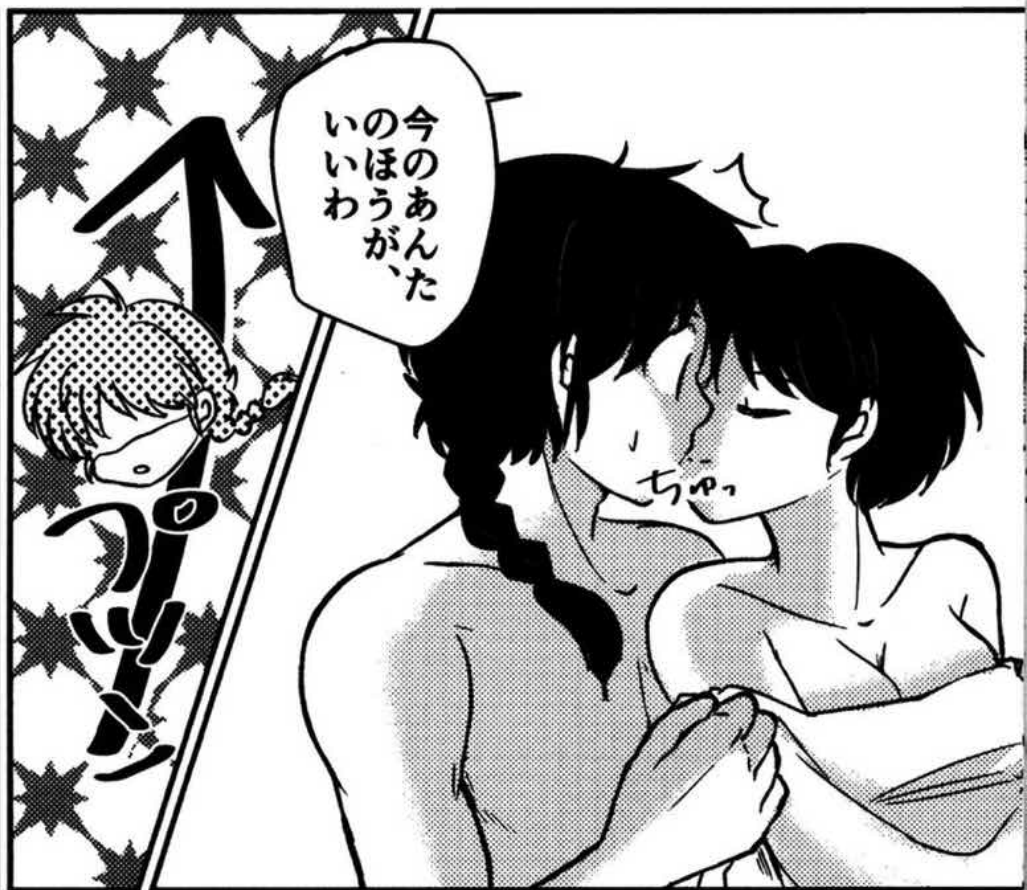
それでも
足りねえっ！

十分やり返し
たじゃない



まあ、
あかねの
何年後かが
見れて





この
酔っぱらい!!

ます、

ひゃく

…酔って
らいもん。

お酒の力が無いと
出来ないなんて

どきどき

いつも…
こうしてあげたいって
思ってるもん。

恥ずかしいし
上手くできないし

情けないけど…

はあっ
…らけ

今日だけは

乱馬に
してあげたい…

はぁっ
はぁ

ぞきぞき

しちゃう

びしょ

やきん

ぶっ

ぶち
ぶち

…の。

…いや?

いやとは
言っ
てねー
だろ…

びしょ
びしょ

びしょ

やきん
やきん

あかねが震えながら

ぎこちなく

ゆっくりと

腰を擦り付けてくるから…

くちゅん

ぬりゅん

刺激がもどかし…

はっ

ちゅん

…

ぶっ

ズ
ル
ン

コ
ン
コ
ン

しゅん

びしょ

おれのために必死に
慣れねえ事するあかねも

ふあっ
あっ

ふあっ

はいっ...んな...
...いっ...?

あっ...
なんれえ?
んん...?

はあ...

んんんんん

あっ
乱馬あっ
やあん...
あん...

悪くねえけど...



ふう...
...んん...

あかねにやら
ばうかっの

気に入らねえっ!!



やっばり

!!?

あー
あー



ムリッ♡
ムリッ♡
ムリッ♡

ムリッ♡
ムリッ♡

ギョッ

ラッ♡
ラッ♡
ラッ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

……そっ

わけわかんなく
なるまで
酔っぱらい
やがって……

ジッ♡
ジッ♡
ジッ♡

ジッ♡
ジッ♡
ジッ♡

他の野郎の前で
酒飲んだら……
許さねえからなっ!!



ばかっ…

あたしが
酔うのは
あんただけよ…

トク

しゅん

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



びく

びく

はあ...

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...!!

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...

あか...

ク

ク

あか...



じいちゃん♡

すあっ
はっ

あ
さつき
よひ...

すあっ...

かたくない...?



すあっ
はっ

すあっ



ふん...

ほ

すあ...



ほ

きもち...

すあっ
はっ



ほ

よかった...?

すあ
はっ



?

えっ
なんれまた
おつき...

あかねっ...

かばち

ひゃ

そして延長戦

comments



そな

はじめましての御方も、お久しぶりですの御方も
こんにちはv そなと申します。

きのこ隊久々の復活となりました「あたしの愛しい許婚」
を、お手にとってくださいまして、ありがとうございますv

久々のモ/クロまんがで、使い方を忘れかけてたコミスタ。
安定しない絵柄に、突然ログアウトする服や下着..
テーマに添えてるのかも不安で、今回もいろいろ反省点
ばかりですが、少しでも楽しんで頂けましたら幸いですv
またこうして、みんなと一緒に御本を作る機会をいただけ
幸せでございました(#..#)
読んでくださる貴方様に、誘ってくれたきのこのみんなに
感謝ですvvありがとうございますv



胸の大きさをバカ
にされて、ムキに
なって張り合っ
て頑張っちゃいそ
かなーvと
思いついただけ
ですすいません^^;

杜崎淑乃



きのこが帰ってきました。

杜崎淑乃でございます。4年振りのきのこ隊の本です。まさかまたきのこで本を出せる
日が来るとは思っておりませんでした。初めて読んで下さる方も、お久しぶりの方も本当に
有難うございます。折角のコメント欄なので少しだけ言い訳を。今流行りの恋愛映画の
設定とはたまたまタイミングが重なっただけでございます。入れ替わりネタは鉄板ですしねw
見た目はあ乱ですが中身が逆なので精神的に乱あとなってしまいました(´Д`)一応
最後はあ乱にしてみたんですが、頑張るあかねさんとタジタジ乱馬さんが見たかったのは
私もです…すみませんorz乱あもあ乱もウマウマです(´・ω´)きのこに無理矢理巻き
込んだやみさんも本当にありがとうございました(*´v´)以上よしのでした(´・ω´)/

一宮レイ

秋といえはきのこですね。久しぶりのきのこ隊の復活にワクワクドキドキしております。今回恐れ多くも大人気のやみさんとコラボさせて頂き、数年前からお蔵入りしていたへなちょこエロ小説が鮮やかな漫画に大変身いたしました！やみさんの初めてを貰った気がして誇らしいです(●ω●)やみさん、本当にありがとうございました！小説書いて良かったなー！

やみ



一宮レイさんの小説に挿絵と漫画を描かせていただきましたやみと申します。ある日焼肉食べてたら粉れ込むことになっていて、びっくりすぎて話してる内容とお肉が消化しきれませんでした。断ることを知らない恥かき野郎はこの夏「資料」と称してティーンズラブ読み漁り暑さとエロの情報で頭が飽和状態になりつつ得た知識は「エロは擬音」。レイさんこんな擬音書いてないっす。というわけで「資料」を見様見真似(舌バクリ…のはず)した私の浅知恵の結果、このようなことになったのにレイさん最後までお付き合いしてくださいました。本当、足向けて寝られないです。

本当にすみません。ごめんなさい。でもでも…

めっちゃくちゃ楽しかったっ！

こんな私にエロを、あ乱を描く機会を与えてくださった『きのこ隊』の皆様、そして、困らずも私なんぞのフィルター通したエロのあ乱を読んでくださった方に。ごめんなさい!! じゃなかった。

ありがとうございました!

2016年9月某日。やみ



あ

乱

八神らいむ

祝♥きのこ隊5周年&限定復活!! よめどうございます〜!!
はじめましてまたはごんにちは八神らいむです。

目指せ男性向け!きのこ大量!ミルク!というサークル名と方針通りがつり好き放題描いたら原液のカ○ピスみたいになりました。

擬音がどんどん増えて8月の蟬くらいうるさくなりましたw難しい…!

らめえらめえあかね楽しかったです…あかねちゃんにえっちな言葉

言わせたいですよね…語尾にハートマーク楽しすぎました…ウオオ

また皆さんと一緒に本を出せて本当に嬉しいです…ドキがムヌムヌ

そし・て!!皆さんのあ乱が楽しすぎで…ハアハア…あ乱大好き…!!

自分はお乱度5%くらいになってしまったので、いつかちゃんと受けな乱馬

を…なんとかあかねちゃんに頑張ってもらって描いてみたいです…あ乱はいいぞ

それではありがとうございました!うー!乱馬とあかね大好きー!! 2016.10



最後になってしまいました
今回のきのこ隊発行
「あたしの愛しい許婚」のテーマは
お乱でございました。
最後までお読み頂き
誠に有難うございました！
またどこかでお会い出来る事を願って。
きのこ隊一同

今回諸事情により参加出来なかったメンバーもいるので
またいつかふらっと復活出来たらいいなあ(淑乃)

あたしの愛しい許婚

きのこ隊

2016. 10. 09

alto16171819@yahoo.co.jp

スズトウシャドウ印刷

※無断転載複写ネットオークション禁止



MY LOVE
FIANCEE

RAIN KANE
UNDER ANBOOK

MY LOVELY FIANCEE

RANMA*AKANE
RANMA1/2
UNOFFICIAL FANBOOK



辰子の隊
KINOKOTAI